

第1回「緑あふれる街づくり(平成27年8月26日開催)」 主な御提言に係る県の対応

主な御提言（要旨）	県の対応
<p>インタープリターによる自然体験プログラムの提供を通じて、色々な場所で緑の魅力を感じるきっかけづくりができるとうい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市町村等との連携により、あいち海上の森センター、豊田市自然観察の森、トヨタの森・エコの森ハウス、春日井市少年自然の家、東山動植物園など、愛知県環境学習施設等連絡協議会（AELネット）に加盟している環境学習施設で自然体感プログラム等を実施しています。 平成28年度は、モリコロパーク「もりの学舎」で活動するインタープリターの養成研修を実施します。
<p>子どもの頃から、花や緑に関する基本的な知識を育み、花や緑を育てる経験を積むことが大切である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの頃から花や緑に親しんでいただくための、様々な取組を行っています。 ①モリコロパーク「もりの学舎」で、小学生以上を対象としたインタープリターによる自然体感プログラムを実施。 ②7県1市（愛知県、岐阜県、三重県、福井県、静岡県、滋賀県、長野県、名古屋市）及び中日新聞社等による、学校花壇コンクールや花壇写真コンクールなどの「フラワー・ブラボー・コンクール」の開催。 ③各種花のイベント等でのフラワーアレンジメントなどの体験教室や、各地域の小学校で花育教室を実施。 ④小学校・中学校・高等学校での、学校の環境緑化や学校林活動への取組を表彰する学校関係緑化コンクールの開催。 ⑤「あいち森と緑づくり事業」により、子どもたちを対象とした植栽体験や芝張りなどの体験活動を行う事業を助成。 平成28年度は、未就学児を対象にした新たな自然体感プログラムの提供や、日常的に幼児教育に携わる幼稚園教諭・保育士を対象に自然体験を通じた環境学習のノウハウを習得する研修を実施します。
<p>グリーンカーテン設置の取組を推進していきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「あいち緑のカーテンコンテスト」において、住宅、幼稚園・保育所、学校、事業所の4部門で作品を募集し、優秀事例を表彰することで緑のカーテンの普及を図っています。 「あいち森と緑づくり事業」により、グリーンカーテンの設置や普及に関する取組を助成しています。
<p>古典的な花の遺伝子や歴史など、日本は世界最高峰の花の文化を持った国であることを、皆さんに知っていただくことが緑化の核をつくると思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「国産花きイノベーション推進事業」において、「かきつばた」や「古典菊」などの古典園芸植物の展示に関する経費を助成するとともに、県公館や県庁西庁舎で「かきつばた」を展示するなど古典園芸植物のPRに努めています。 平成28年3月に策定した「愛知県花き振興計画」において、「地域の伝統的な花や花文化の普及」を主な取組事項として位置づけました。
<p>雑草を取るだけで緑化は非常に進歩すると思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「花いっぱい県民運動」の機運をより一層醸成するとともに、県民の皆さんの花壇づくり及び花壇管理のモデルとなるよう、県本庁舎正面及び名古屋駅前を本県産花きで装飾をする「あいちおもてなし花壇」を設置しています。 平成28年度も引き続き、この花壇をPRするとともに、雑草取りなどの花壇管理についてもPRしていきます。
<p>花壇作り等についての相談ができる施設の存在が大切だと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 愛知県緑化センターでは、緑に興味を持っている方々を対象に「みどりづくり研修」を実施しているほか、愛知県植木センターでは、より専門的に学びたい方々を対象にした研修を実施しています。また、来所や電話等による緑化相談に応じるなど、身近な緑について相談できるようになっています。 「県民参加緑づくり事業」において、講師派遣型のガーデニングやハンギングバスケットなどの講座開催に対し助成しているほか、県営「東三河ふるさと公園」において、ハンギングバスケットや寄せ植えの講座を開催しています。
<p>企業向けに緑化のインセンティブを図るためには、写真展の開催も良いのではないかと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「あいち森と緑づくり事業」では、企業が実施する緑化事業に対する助成を行っています。 今後、優れた事例を集めた写真集の作成や、ホームページでの公開等について検討していきます。